

支え愛



【特集】ここに住み、ここに生きる。

阿賀川沿い、山に包み込まれてしま
いそうな沼尾の集落。そこに暮らす皆
さんは、お互いを思いやる絆と地域愛
をもって、支え合いながら日々を生
きています。今月号では、そんなあ
たかい支え合いを紹介します。

ここに住み、ここに生きる。

人口減少や少子高齢化、核家族化と、変化し続ける社会。以前は当たり前のようであった地域の絆や助け合いの精神が、薄れつつあります。

高齢者のみの世帯も増え、年齢とともに自宅での生活が難しくなり、介護施設や病院で最期を迎える方も少なくありません。

住み慣れた地域で、できるだけ長く元気に生活し続けるには、どうしたらよいのでしょうか。

少子高齢化が進むにつれ、「支える側（若い世代）」は減り、「支えられる側（高齢者）」の割合が増えていきます。下郷町の高齢化率は、今年の1月で43%を超えました。

町内でも高齢化が著しい沼尾区では、住民同士が助け合って暮らせる地域を築くため、介護保険法の改正により始まった「生活支援体制整備事業」に取り組んでいます。

このままでは何もできない地域になってしまう。そんな危機感を原動力に、活動する様子を取材しました。

（写真は沼尾の集落）

沼尾区の歩み

◆経済成長の裏側で

昭和40年、旧建設省職員が沼尾区に5日間滞在し、河川調査を実施しました。その目的を、沼尾区に住む人は誰も知りませんでした。

当時、日本は高度経済成長期の真っ只中。周辺市町村の水害対策と増大する電力需要に因應するため、大川ダムの建設計画が進んでいました。

そして昭和50年、ダム建設により水没することが決まった沼尾区は、全戸移転を余儀なくされました。家屋や集会所、墓地、神社、すべてを移転し、生業も変えなければならず、生活の再建には苦勞しました。

◆止まらない人口減少

ダム建設に伴い、当時在住していた18世帯のうち8世帯

は会津若松市へ、残る10世帯は現在の家ノ平地区へ移転しました。沼尾区の人口は89人から46人に激減しました。

その後はゆるやかに増減を繰り返していましたが、近年は減少の一途をたどっています。進学や就職のため、若い世代は町外・県外へ出てしまいました。

◆深刻な高齢化

今、直面しているのは地区住民の高齢化です。

今年の1月1日現在で、沼尾区に住所を有するのは8世帯16人。10人が65歳以上の高齢者で、そのうち5人が後期高齢者です。

ここ数年で、空き家も目立ってきました。沼尾という小さな集落に、日本の時代の流れと社会問題が凝縮されているのです。

現状を把握

◆アンケートを実施

これまでも沼尾区では、高齢者世帯にとって負担となる通院や買い物、農作業や除雪などはお互いに協力して生活してきました。しかし、介護まで協力することはできません。要介護となると日常生活そのものが難しくなり、住み慣れた地域で暮らすことができません。

そこで沼尾区では、これまでの支え合いを強化しつつ介護予防にも取り組むため、生活支援体制整備事業（※）を始めることとしました。

平成29年9月、事業を始めるにあたり沼尾区のサロンでは、地区の現状を把握するため住民を対象としたアンケートを実施しました。調査内容とその結果は左記のとおりです。

※生活支援体制整備事業

平成27年の介護保険法改正により、「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」が始まりました。その事業の一環として、地域の支え合い・助け合いの体制を広げ、高齢者を支える活動を推進するものです。

地 域

ボランティアや自治会、住民による生活支援、介護予防を行い、高齢者を支える。



現状把握のためのアンケート結果

①生活の中の困りごと、不安など(支えられる側)

- ・運転免許を返納したら移動が難しくなる
- ・買い物や病院への交通手段
- ・預貯金の払い戻しに行けない
- ・タクシー助成券を増額してほしい
- ・高齢者の1人暮らしは不安
- ・老々介護が大変
- ・農作業が難しい
- ・家の周囲の除草作業も大変
- ・洗濯物。物干しに手が届かない
- ・布団を干すのが大変
- ・重い物が持てない
- ・区の集金・積み立てが大変
- ・区の作業（草刈りなど）への参加が難しい
- ・ゴミ出しができない
- ・除雪作業、屋根の雪下ろしができない
- ・緊急時の対応が心配

②自分ができそうなこと、提案など(支える側)

- ・ゴミ出し
- ・買い物に行く際に声をかける（一緒に行くなど）
- ・病院への付き添い
- ・見守り、声かけ
- ・話を聞いてあげる
- ・集金業務の代理
- ・緊急時の対応
- ・農作業や草刈りの手伝い
- ・除雪作業
- ・雨戸の開閉
- ・植木の手入れ、冬囲い
- ・ポリタンクへの灯油補充

③支え合い活動への協力について ※複数回答可

- ・協力したい・・・・・・・・・・5人
- ・空いている時間で協力したい・・・・・11人
- ・内容によって協力したい・・・・・・・・4人
- ・今は無理だが将来的には協力したい・・1人
- ・協力できない・・・・・・・・・・0人

沼尾の歴史

ダム建設と移転の話

昭和42年10月 旧建設省阿賀川工事事務所から沼尾区へ、初めて大川ダム建設についての説明と調査立ち入りへの協力要請が行われた。これ以降、集落内および役場にて、ダム建設に係る会議、役場や旧建設省による説明会などが何度も開催される。

昭和48年10月 大川ダム建設工事開始。

昭和49年8月 大川ダム損失補償基準妥結調印。（国と沼尾、小沼崎、湯野上、小野、田代、白岩）

昭和50年 会津若松市への移転開始。4月に5戸、8月に3戸移転完了。

昭和51年4月 残る10戸の家ノ平地区（現在の集落地）での宅地造成が始まり、8月12日に全戸移転完了。



▶当時の「広報しもどう」移転の様子を表紙で伝えた



▶集落内に設置された記念碑

昭和62年10月 大川ダム竣工。

支え合い活動

◆問題の共有

平成29年10月から平成31年3月にかけて、アンケート結果のとりまとめと課題の整理、活動に向けて協議をするための会議が開かれました。

会議は、平日働いている人も参加できるよう日曜日に開催することもありました。

この活動は、一部の区民だけでは成り立ちません。将来を見据え、地区全体で問題意識を共有する必要があると考えたからです。

◆体制づくり

協議の結果、事業に係る活動の大部分はサロンで担うことが決まりました。

「支えられる人」は高齢者のみの世帯などで、「支える人」としては区民全員が参加。将来を見据え、地区全体で

この活動に取り組んでいきます。

また、この取り組みを町役場健康福祉課と町社会福祉協議会がサポートし、生活支援コーディネーターとして室井かをるさん（張平）らが加わりました。

こうして、平成31年4月1日より左記の体制で沼尾区的生活支援体制整備事業「支え合い活動」が始まりました。

◆介護予防

この事業の中核を担うサロン「沼尾かやのみ会」。月に2回実施し、健康福祉課や社会福祉協議会の職員による介護予防のための運動教室なども開催します。

運動教室では、まずは保健師が一人一人の血圧を測り、体調に変化がないか話を聞きます。その後、ストレッチを

してからペタンクなどさまざまな運動をします。

また、高齢者が陥りやすい低栄養や脱水症状を予防するため、料理教室も開催。生活の偏りは、免疫力や身体機能の低下を招き、最終的には要介護状態につながります。

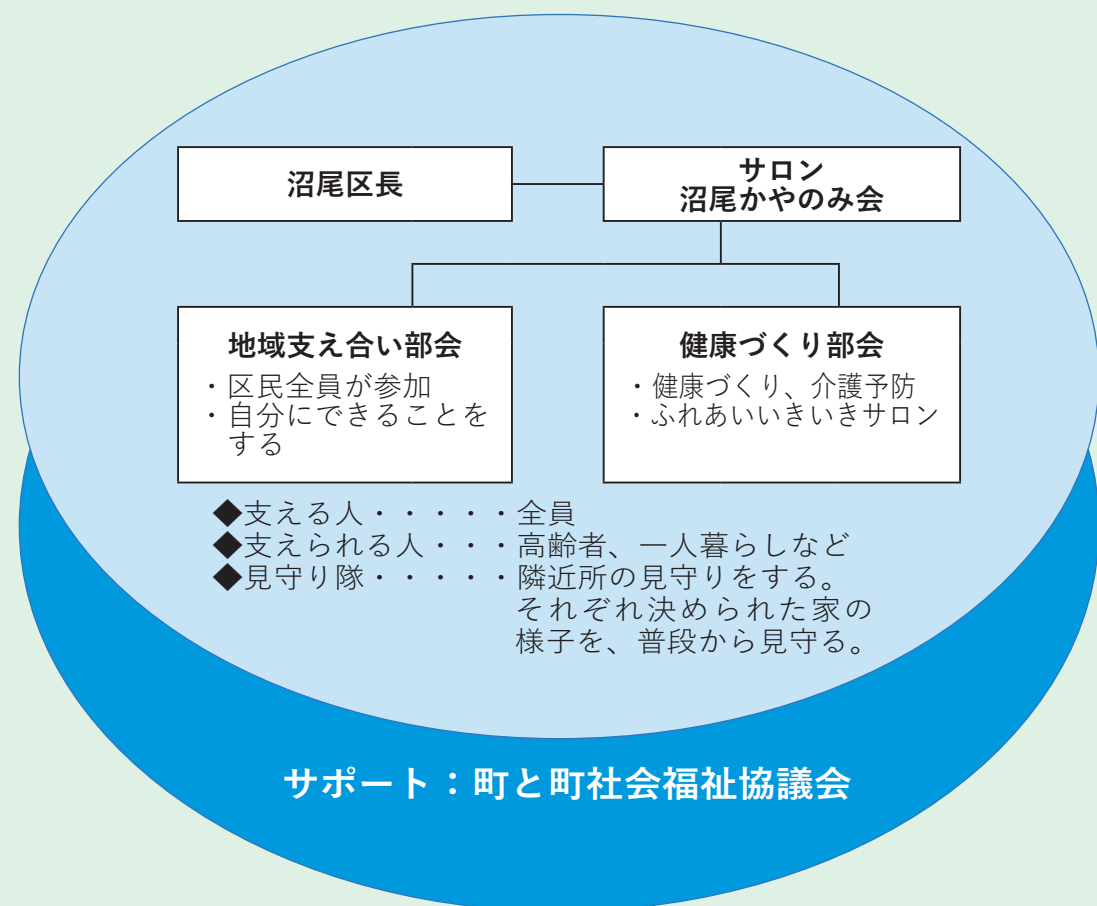
料理教室を開くことで、食生活の面からも介護予防を進めています。

◆地域の見守り隊

沼尾区では体制づくりと同時に、以前から編成していた緊急時の見守り体制も再編成しました。

見守り隊の活動内容は、隣近所の高齢者宅を訪問し、変わった様子がないか、困ったことがないかなど普段から見守ること。沼尾区では、誰がどの家を訪問するかも決まっています。

沼尾区「支え合い活動」の組織図



◀見守り隊の活動

見守り隊は、普段の見守り以外に、地区全体の防災のためにも活動します。

写真は10月11日の様子。台風19号に備えて隣家の周囲を見回りました。雨戸を閉めてあげたり、風で飛びそうなものを片づけ、倒れそうな物干しは、台風が来る前に倒しておきました。



▶サロン（料理教室）

低栄養を予防するための料理教室。自宅でも作れるように調理実習を行います。

今回のメニューはおにぎり、豚肉の甘酢焼き、青菜のおひたし、味噌汁、イチゴソースをかけた牛乳寒天。できあがった料理は、皆さんでおいしくいただきました。



◀サロン（運動教室）

ストレッチで体をほぐします。運動は椅子に座り、それぞれ無理のない範囲で行います。

参加している住民のほとんどがサロン以外で運動する習慣がないため、この運動教室が介護予防のための重要な時間です。



▶サロン（イラスト合わせ）

認知症予防のための脳を使うトレーニング。たくさんのイラストの中から、同じものを探します。



みんながいるから、さみしくないよ

そう言ったのは、芳賀ヒロ子さん（右の写真）。今は一人で暮らしていますが、サロンで皆に会えるからです。

友子さんも、こうした集まりが楽しみだと顔をほころばせました。「家にいるよりずっといい」と話します。

トノさんは、「何かあっても、すぐ来てくれるから安心だね」と言います。隣家の節子さんが、毎日様子を見に来てくれるからです。

栄子さんは普段は町外で働いていますが、サロンのある日はお休みをもらうようにしています。「皆の顔が見れるから」と、はじけるような笑顔を見せてくれました。

会って、顔を見て、話を聞いて。沼尾区の皆さんは、家族のようにあたたかく支え合っています。



一緒に地域を考えたい

室井かをるさんは、生活支援コーディネーターとして沼尾区のほか、町内の各地域で生活支援や介護予防のために活動しています。

室井さんは沼尾区を「昔ながらのあたたかさがある地区」と表現します。集落を訪れる度に見かける、家族のように支え合う姿がとても印象的だと言います。

また、「しっかりとした組織ができていますので、コーディネーターとしても活動しやすい」と話します。支え合い活動を始める際も、沼尾区から要請があり、区民全員が集まる場で生活支援体制整備事業について説明しました。沼尾区の皆さんはとても意欲的で、住民主導で活動します。

室井さんは他の地区にも、この支え合う取り組みが広がってほしいと願っています。「自分たちの地域を見つめ直してほしい。可能な限り応援するので、年を重ねても生活できる地域になるよう一緒に考えましょう」と呼びかけています。

◆生活支援コーディネーターとは？

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、支え合いのあるあたたかい地域づくり、生活支援・介護予防の体制づくりをお手伝いします。

具体的な活動内容は、関係者のネットワークや既

存の福祉サービスを活用しながら、高齢者の困りごとの把握、サービスの開発やその担い手の発掘・育成・支援、ニーズと取り組みのマッチングなどを行うものです。

つながる絆

◆全員がつながって

沼尾区では、隣近所の支え合いも、サロンも運動教室も、「支え合い活動」を始める前からすでに取り組んでいました。では、「活動」として行う意義とは何なのでしょう。この活動には、大きく2つの意義があります。

1つは、支え合う行為そのものへ区民全員が参加するようになったこと。

沼尾区は「支え合い活動」の体制の中で、「支える人」「区民全員」としました。この体制は、区民全員をつなぐものになります。

今、実際にこの活動に深く関わるのは住民の一部です。普段働いていて活動に多く関われない住民へは、空いている時間で、無理のない範囲での参加を促します。

沼尾区に住んでいる皆さん

◆絆の「見える化」

もう1つの意義は、目に見えない絆を「見える化」したことです。

活動を始める前の支え合いは、隣近所のゆるやかなつながりでした。しかし、今回体制をつくったことで、そのつながりを「見える化」し、認識しやすいものになりました。このことは支え合う行為の安定化にもつながります。

体制を作ることで、住民同士の支え合いを恒常化させ、少しでも長く継続するよう基盤を整備したのです。

が、できるだけ長く暮らし続けるためには、お互いの支え合いが大切です。そしてその支え合いは、一部の住民だけでは長く継続できません。将来を見据え、全員をつなげる体制を作ったのです。

▼笑いの絶えないサロンの時間。12月6日のクリスマス会ではスノードームを作りました。

（上）左から芳賀優さん、芳賀節子さん、芳賀栄子さん
（下）左から芳賀トノさん、芳賀友子さん、芳賀善一さん



ここで生きるために

高齢化が進む中、支え合いながら暮らす沼尾区の皆さん。
活動を推し進める2人に、その想いを聞きました。



沼尾区長
芳賀 優^{まさる}さん（69）

ダム建設に伴う移転の際は、沼尾区青年会長として記念碑設立事業などに携わりました。

平成27年4月に区長就任。以来、沼尾区民と役場との橋渡しを担っています。区長業務の傍ら、見守り隊の活動も積極的に行っています。

支え合う心は 皆が持っている

優さんは、この活動を「昔からある隣近所の支え合いの拡大版」と表現します。「支え合いというのは昔からどこの集落にもあって、皆がやっていた。いわゆる結^{ゆい}の精神だよ」と。

この活動の根幹にある沼尾区の結束力の強さについて伺うと、優さんはダム建設に伴う全戸移転が関係していると話します。移転は決して望んだことではありませんでしたが、その後、協力して生活再建に取り組んできたことが今にもつながっているのではと考えています。

それに加え、「皆、お互いさまという気持ちがある」とも言います。アンケートでも『協力できない』と回答した人はいません。全員が将来を見据え、自分が支えられることも考えているからだと分析します。

高齢者の生活には、遠くに住んでいる息子・娘たちだけでなく、近くの見守りも不可欠。自分たちも年を取って、お互いにお世話になるので、今は支える側としてしっかり活動したいと話します。

そして今、沼尾区全体で活動ができるのは「善一さんがベースを作ってくれたから」と、感謝も口にします。「集落の未来のために、その意思をしっかりつないでいきたい」と抱負を語ります。

今後はこの活動を継続するために「支えられる側」だけではなく、「支える側」のこともしっかり考えたいとのこと。50～60代の区民では、まだ現役で働いている方もいます。その方たちも仕事の合間や退職後に積極的に参加してもらえよう、活動していきたいと決意を語りました。

皆のために 誰かがやらないと

「ここで暮らし続けるために、皆のために誰かが引っ張らないと」と、活動を始めた思いを語る善一さん。口調は穏やかですが、胸の内には熱い想いを秘めています。

高齢化が進む今、地区全体で積極的に支え合えないと皆が生活できなくなる。そんな危機感から、区民全員を巻き込んだ体制づくりに臨みました。

活動には全員の協力が必要で、その意見を聞くため、まずアンケートを実施。「口で聞いてもなかなか本音は出てこない。アンケートが一番だ」と話します。

体制づくりには新しい組織を作ること考えたそうですが、小さな集落の中が組織ばかりになってしまいうため、既存のサロンの中で実施することを決断。無理のない体制づくりを考えました。

支え合い活動の中心となっているサロン。善一さんは準備が大変だと言う一方、「サロンは絶対になくせない」と強調します。それは、皆が集まる場がなくなってしまうから。

今、沼尾区には夫婦2人か、1人暮らしの世帯しかありません。特にお年寄り、サロンがなくなると誰かと話す機会が減ってしまいます。さみしい思いをさせず、絆を深めるためにもサロンは欠かせない場となっているのです。

善一さんは、「俺も後期高齢者なんだよ」と笑います。本来であれば「支えられる側」と言っても過言ではありません。それでも「身体が動くうちは、支える側でいたい」と何よりも沼尾区の皆さんのことを想っています。



サロン「沼尾かやのみ会」会長
芳賀 善一^{よしichi}さん（75）

前沼尾区長。町の民生委員や農業委員としても活動してきました。他地域への視察研修などで得た知見が、この活動に役立っています。

サロン「沼尾かやのみ会」には、設立当初から事務局として携わってきました。



住み慣れた場所で、元気に暮らしていきたい。誰もがそう願いながら、年を重ね、いつかは「支えられる側」になります。高齢者が地域で生活を続けるためには、行政サービスも不可欠ですが、地域の支えも大切です。高齢化が進む今、地域の絆について改めて考えてみませんか。

集落行事への参加や、近所のお年寄りへの声掛けなどが、新たな絆づくりの第一歩になります。取材中、何度も耳にした「お互いさま」という言葉。地域に育てられ、「支えられる側」になり、「支えられる側」に。地域への感謝と愛情が、互いを思いやる絆となります。助けが必要になったとき、互いに支え合う理想が、沼尾区にありました。

特集「ここに住み、ここに生きる。」終わり

町民スキー大会参加者募集

第51回町民スキー大会が、右記の日程で開催されます。

今年度は競技方法を変更し、誰でも優勝の可能性があるタイム申告制を採用します。また、スノーボード競技を追加しました。

児童、生徒をはじめ、一般の皆さまの積極的な参加をお待ちしています。

詳しくは、全戸配布したチラシをご覧ください。町教育委員会までお問い合わせください。

- ◆日 時 令和2年2月23日(日)
8:30～ 受付
- ◆会 場 会津高原だいくらスキー場
白樺インコース
- ◆競技方法 タイム申告制
※1本目を滑走後、競技者にタイムを伝え、2本目に申告したタイムと実際の滑走タイムの誤差が小さい方が上位となります。



スノーボード競技を追加。

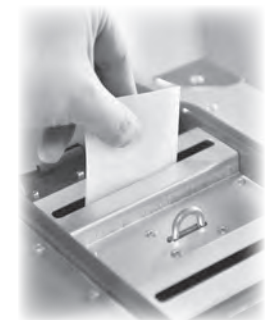
◆社会教育係 ☎0241-69-1168

あなたの清き一票を。

- ◆告示日
令和2年3月17日(火)
- ◆投票日
日時：令和2年3月22日(日)
7:00～18:00
場所：各地区の投票所
- ◆期日前投票
日時：令和2年3月18日(水)～3月21日(土)
8:30～20:00
場所：町役場1階 101会議室
- ◆立候補予定者説明会
日時：令和2年2月17日(月)
13:30～
場所：町役場3階 正庁

◆町選挙管理委員会 ☎0241-69-1122

令和2年3月31日に任期満了となる町議会議員の一般選挙は、左記のとおり執行される予定です。なお、立候補予定者説明会を開催しますので、立候補を予定している方は出席してください。



町議会議員一般選挙

自分は大丈夫、と思わないで。

代表的な詐欺の手口

◆ハガキを使った手口

「日本民事訴訟管理センター」や「国民訴訟通達センター」など、公的機関に類似した名称の団体からはがきが届きます。

「訴訟を開始する」、「給与や不動産を差し押さえる」など不安をあおる内容が書かれているため、支払いに応じてしまうことも。

◆メールを使った手口

インターネットの有料サイト(動画等)の利用料金や、通信販売の商品代金などを請求するメール、SMSが送られてきます。実在する事業者をかたってメールを送るケースもあるので要注意です。

「自分は大丈夫」という思い込みが最も危険です。詐欺を甘く見ずに、だまされないよう注意しましょう。

◆被害に遭わないために

- ・身に覚えのない請求は無視!
- ・相手には絶対に連絡しない!
- ・不審なはがき、メールは消費生活センターや警察に相談!

支

払いを要求するはがきやメールを送りつけ、金銭をだまし取る架空請求詐欺が多発しています。

代表的な手口は左記のとおりです。

架空請求詐欺に注意

◆生活安全係 ☎0241-69-1133

生涯学習とこころの健康

町と町教育委員会が主催する合同講演会が右記のとおり開催されます。

しもごう健康ポイントカード、しもごうーカードをお持ちの方はご持参ください。

入場は無料です。多数のご来場をお待ちしております。

同日開催「歩いて健康教室」

- ◆時 間 10:00～
- ◆会 場 下郷ふれあいセンター研修室
- ◆その他 しもごうーカードに100ポイント付与
- ◆問合せ 下郷町商工会
☎0241-67-3135

◆健康係 ☎0241-69-1199 / 社会教育係 ☎0241-69-1168

合同講演会を開催。

講演会「命の授業」

- ◆日 時 令和2年2月16日(日)
13:00～
- ◆会 場 下郷ふれあいセンター
多目的ホール
- ◆講 師 ゴルゴ松本氏(お笑い芸人)
- ◆その他 ・健康ポイントのスタンプ2つ、しもごうーカードに100ポイント付与
・先着300名にしもごうクッキーをプレゼント

今年一年の安全祈願

町消防団・婦人消防隊出初式、無火災祈願祭

1月5日、町役場において町消防団並びに婦人消防隊の出初式、無火災祈願祭が開かれ、消防団員や婦人消防隊員、関係者など88名が参加しました。

殉職消防団員に対する黙とうを行った後、高倉神社長沼秀徳宮司（大内）による安全祈願祭が執り行われました。

星學町長はいさつで「町民の生命、身体、財産を守るため、消防団の役割はますます大きくなっている。今年一年、安心・安全に暮らせるよう、引き続き団員の皆さんにご協力願いたい」と述べました。続いて星清美町消防団長が「昨年は火災2件と台風が発生し、初期消火と防災の重要性を再認識した。今後も予防消防など、継続して消防活動に当たってほしい」とあいさつしました。

参加者は、新年を迎え気持ちを新たに今年一年の安全を祈願しました。



安全祈願祭

多くの人に支えられ 星英男さんが瑞宝双光章を受章



▲受章した星さん

このたび、星英男さん（南倉沢）が瑞宝双光章を受章されました。1月18日、自宅において伝達式が執り行われ、勲記と勲章が星敏恵教育長より手渡されました。

星さんは「身に余る光榮。教え子たち、保護者、地域の皆さんに感謝している」と受章の感想を述べました。

星さんは、昭和29年4月から平成4年3月まで教員として39年間活躍。町内だけでなく、白河市や只見町などでも教鞭をとってきましたが、周囲の支えもあり、大きな事故もなく無事に過ごすことができたと話します。「特に下郷町内の小学校にいた期間が長かったので、今回の受章は町の皆さんのおかげです」と感謝を口にしました。

学力向上よりも人間性を大切にした教育が大切なのではないかと考え、「“みんな”ではなく“一人一人”を大切に」という思いで指導にあたってきた星さん。当時の教え子とは今でも連絡をとっていて、今年も年賀状が届いたそうです。

今後は身体に気を付けながら、日課のウォーキングを楽しんで過ごしたいと穏やかに話してくれました。

町の飛躍と発展を願い 新春年始会を開催

町 新春年始会は1月6日、下郷ふれあいセンターにおいて開催されました。

町、町議会、町教育委員会、町農業委員会、町商工会、会津よつば農業協同組合、町森林組合、町土地改良区、町区長協議会、町老人クラブ連合会の主催。関係者や一般町民など約130名が参加しました。

主催者あいさつでは、代表して星學町長が「今年は東京オリンピック・パラリンピックの年。世界に町の魅力をPRできるよう取り組んでいきたい」と述べました。

また、輝かしい新年を祝うため観世流一声会の湯田眞佐弘さん（倉村）が祝謡を披露し、会場からは大きな拍手が送られました。

乾杯後は食事を楽しみながら新年のあいさつを交わし、最後に室井眞夫町老人クラブ連合会会長（張平）による万歳三唱で町の飛躍と発展を願いました。



▲多くの出席者でにぎわう会場

聖火リレーを盛り上げよう！

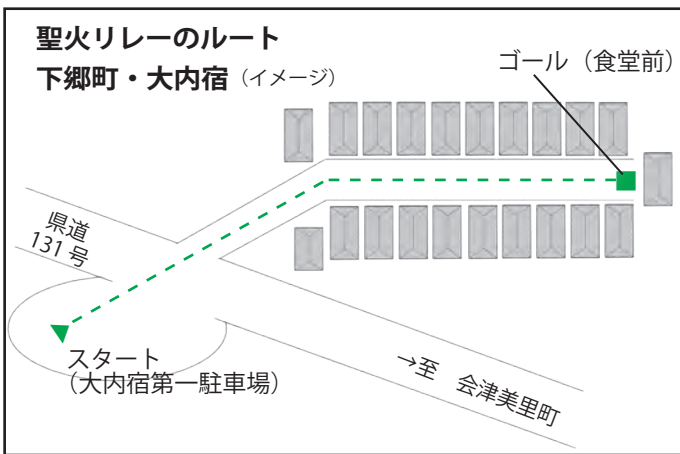
町実行委員会を開催

1月10日、町役場において東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー事業下郷町実行委員会が開催されました。

この実行委員会は、3月28日に本町の大内宿を通過する聖火リレーを盛り上げるため、昨年11月29日に設立。今回は星學会長のあいさつの後、具体的な事業計画や予算について話し合いました。

当日の内容については、町民の皆さまに参加してもらうためシャトルバスの運行やおもてなし事業、歓迎セレモニーなどを予定しています。その他にも、この国際的なイベントにできるだけ多くの町民の皆さまに関わってもらうため、さまざまな企画を協議しました。

なお、詳細については後日、実行委員会より周知される予定です。



▲さまざまな意見が交わされた実行委員会



こんにちは!! **駐在所**です

檜 原 ☎ 67-2325 湯野上 ☎ 68-2259

「ながら運転」 厳罰化 !!

令和元年 12 月 1 日より、道路交通法の一部が改正され、運転中の携帯電話の使用等についての罰則が強化されました。改正後の罰則等は下記のとおりです。

「ながら運転」で事故を起こさないよう、普段から安全運転をお願いいたします。

運転中にスマホ等を使用した場合	
罰 則	6 カ月以下の懲役または 10 万円以下の罰金
反則金	大型…25,000 円 普通…18,000 円 二輪…15,000 円 原付…12,000 円
点 数	3 点
スマホ等を使用し、事故を起こした場合	
罰 則	1 年以下の懲役または 30 万円以下の罰金
反則金	なし
点 数	6 点（※免許停止）

- ◆「ながら運転」にあたる主な行為
- ①**通話（機器：携帯電話、スマートフォン）**
通話自体が違反です。ハンズフリー機能を使い、手に持たずに通話するのは違反ではありません。
- ②**画面注視（機器：携帯電話、スマートフォン、タブレット、カーナビ、カーテレビ、パソコン、ゲーム機）**
運転中に画面を見たり操作することは違反です。短時間でも非常に危険です。絶対にやめましょう。

町内の犯罪発生件数

昨年 1 年間の町内における犯罪発生件数は 28 件でした。前年（平成 30 年）と比較すると 12 件も増加しています。

犯罪件数は、全国的には減少傾向にありますが、残念ながら町内では増加しています。

特に窃盗事件が多発していますので、被害に遭わないよう家財の管理を徹底し、防犯カメラの設置をご検討ください。

消防署便り No.99

南会津広域消防署下郷出張所
T E L 0241-67-3015
安心・安全のために住宅用火災警報器を設置しましょう。



下郷出張所 2019 年の活動状況

昨年 1 年間に、下郷出張所で活動した件数をお知らせします。詳細は下記のとおりです。

令和 2 年も気温の変動が予想されます。季節の変わり目には、体調管理に気を付けましょう！



月別で見ると 5、9、10 月が急病事故の発生が多く見られます。気温変化の多い月、季節の変わり目などで急病事故が増加する傾向が見られます。

昨年は火災が 2 件発生しました。皆さん一人一人が火災予防に努めましょう。



◆ 2019 年活動件数

内 容	件 数	備 考	前年比
救 急	356 件	・急病 244 件 ・一般負傷（ケガ等）56 件 ・転院搬送 36 件 ・その他 20 件	13 件減
火 災	2 件	建物火災 1 件、畑・休耕地火災 1 件	1 件増
救 助	6 件	交通事故 3 件、一般負傷 2 件、労働災害 1 件	2 件増
その他	19 件	救急現場への応援出動、捜索、揚煙確認など。サイレンを鳴らし出動します。	6 件増

令和 2 年新春書初め展 特別賞

◆小学生の部

学年	町長賞	教育長賞	公民館長賞
1 年	渡部にこ（旭）	山内ひなた（江）	芳賀梨央（江）
2 年	渡部未優（檜）	小澤心陽（旭）	星 流生（江）
3 年	室井美奏（旭）	植村ここな（檜）	弓田俐乃（旭）
4 年	黒森咲衣（江）	佐藤蒼彩（旭）	星 亜咲（檜）
5 年	白澤梨夢（旭）	荒井美穂（檜）	渡部愛琉（檜）
6 年	松矢夏月葵（檜）	齋藤心羽（旭）	弓田 歩（旭）

◆中学生の部

学年	町長賞	教育長賞	公民館長賞
1 年	星 真由	佐藤桃奈	室井結妃
2 年	岩澤 空	稲本雅響	五十嵐梓
3 年	星 凧紗	星 奈緒	小山 紘

令和 2 年新春書初め展は 1 月 18 日から 26 日にかけて、田沼文藏記念館において開催されました。町公民館の主催。小中学生および一般の方から計 358 点の応募がありました。展示期間中は多くの方が来館し、作品を鑑賞しました。



▲力強い作品の数々

**多くの力作が並ぶ
令和 2 年新春書初め展**

善意ありがとう



▲左から星町長、遠藤さん、下田さん、白岩さん

12月 17 日、立正佼成会の遠藤雅子さん（会津若松市）、下田賀子^{よしこ}さん（同）、白岩政徳さん（南会津町）が来庁し、町に 10 万円を寄付されました。心より御礼申し上げます。



▲寄贈された門松

12月 23 日、玉川護さん（弥五島）が来庁され、町に新春を祝う立派な門松を寄贈されました。

寄贈された門松は、役場正面玄関に飾らせていただきました。心より御礼申し上げます。



▲役場に設置した募金箱

町では 10 月 24 日から 12 月末まで、台風 19 号の被災者支援のため義援金を受け付けました。寄附された 22,807 円は日赤福島県支部に送金しました。ご協力ありがとうございました。

12 月	1 月
16 日 前消防団長星賢一氏来庁／東北電力(株)来庁	5 日 町消防団出初式・無火災祈願祭
17 日 町防災会議／倉橋堰改修促進協議会総会	6 日 仕事始めの式／消防署下郷出張所仕事始めの式／新春年始会／辞令交付式
18 日 町商工会来庁	7 日 町商工会年末大売り出し特賞大抽選会／町建設組合来庁／昭和電工(株)来庁／J A 会津よつば来庁
19 日 南会津地区交通 3 団体来庁／電源開発(株)来庁	8 日 県市町村長防災危機管理ラボ／年始知事懇談会
20 日 会津鉄道(株)取締役会／星賢一氏瑞玉単光章受章祝賀会発起人会結成会議	9 日 福島民友新聞社訪問・福島民報社訪問／郡山国道事務所訪問
21 日 南会津会理理事会／広域組合管理者会／町と町内企業等による意見交換会	10 日 子どもデイサービス下郷開所式／会津鉄道(株)来庁／聖火リレー事業町実行委員会
22 日 町納税貯蓄組合連合会決算総会／町空屋等対策協議会／駐在員会議	11 日 会津乗合自動車(株)来庁／会津電力(株)来庁／南会津農林事務所来庁
23 日 東武トップツアーズ(株)来庁／総合教育会議	12 日 衛生組合管理者会／広域組合議会臨時会／衛生組合議会臨時会
24 日 仕事納めの式	

星町長 動 静
No.76

楽しくスキーを学ぶ

令和元年度町民スキー教室



▶会員から指導を受ける小学生

令 和元年度下郷町民スキー教室は1月18日、会津高原だいくらスキー場において開催されました。町体育協会の主催で下郷スキークラブの主管。当日は、町内児童19名がスキーの基礎を学びました。開会式後、各レベルに応じて班分けをし、会員9名がそれぞれ指導にあたりました。

終了後、参加者からは「またやりたい」という声も上がり、充実したスキー教室となりました。

あみだくじの結果は…

年末大売り出し特賞大抽選会

1 月7日、下郷ふれあいセンターにおいて年末大売り出し特賞大抽選会が開催されました。

町商工会主催。昨年加盟店で買物をし、当選した46名の方が参加しました。

抽選方法は複雑なあみだくじ。参加者の皆さんが見守る中、渡部善一実行委員が線を通り、結果を発表しました。賞品はしもごろうポイントや家電製品、お酒など豪華なものをご用意され、参加者からは歓声が上がっていました。



▶渡部勝男商工会長より、笑顔で賞品を受け取る参加者

色とりどりのお団子

しもごう・湯野上保育所で団子さし



▲湯野上保育所

1 月10日、しもごう保育所と湯野上保育所で団子さしが行われました。

子どもたちは赤や黄色に着色された団子の生地を手に取り、丸やモミジ、小判の形にしました。

団子が茹で上がるまでの間には、先生方から団子さしの



▲しもごう保育所

由来や、地域ごとの風習についてお話を聞きました。

近年は団子さしを行う家庭も少なくなってきましたが、団子さしは五穀豊穡や商売繁盛、無病息災などを願う伝統行事。子どもたちはたくさん枝に色とりどりの団子をさし、楽しく地域の文化を学びました。

後世に残すために

中ノ沢観音堂で文化財防火訓練



▶消火訓練に取り組む隊員ら

1 月26日、中ノ沢観音堂において文化財防火訓練が実施されました。

町、町教育委員会、町消防団の主催。観音堂で火災が発生したと想定し、初めに婦人消防隊が初期消火訓練を実施しました。その後、駆け付けた町消防団と下郷出張所の職員らが、延焼防止訓練や消火訓練に取り組みました。

町の宝である文化財を守るため、近隣住民と関係団体が連携し、真剣に訓練に取り組みました。

税金って、何のため？

小学校で租税教室を開催

南 会津地区税務協議会および南会津法人会による租税教室が、1月20日に榎原小学校、1月22日に旭田小学校において開かれました。

租税教室は、税の仕組みや役割について理解を深めてもらうために、学校などで実施されるものです。

今回の対象は各校の6年生。児童らはパンフレット、DVDなどをおして、税金がどのように使われているのか、暮らしと税金の関わりなどを学びました。



▶榎原小学校での授業

2年連続死亡事故ゼロ

関係団体が報告のため来庁



▶星町長（中央）と来庁した皆さん

12 月19日、2年連続で南会津郡の交通死亡事故ゼロが達成されたとして、星久南会津警察署長、芳賀優南会津地区交通安全協会長（沼尾）、渡部勝男南会津地区安全運転管理者協会長（刈林）、室井三千徳安全運転管理南会津事業主会長（檜原）が報告のために来庁しました。

星學町長は、「交通量が増えている中、死亡事故ゼロは本当にすごいこと。これが続くよう協力願いたい」と述べました。

飲食店も協力を

町飲酒運転防止啓発運動

12 月18日、町飲酒運転防止啓発運動が実施されました。

南会津警察署および町交通安全協会から13名が参加。出発式では、玉川一郎副町長が「飲酒運転は絶対に出さないという気持ちで啓発に当たってください」と述べました。

参加者は2班に分かれて町内の飲食店を訪問。ポスターなど啓発グッズを配布しながら、「飲酒運転防止にご協力ください」と呼びかけ、啓発運動に取り組みました。



▶啓発のため飲食店を訪問

健やかに暮らせる まちを目指して 健康しもごう 21 計画 便り第 39 号

① 特定健診

◆健診実施期間

- ・ 集団健診 9 月 8 日～ 27 日（9 日間）
- ・ 施設健診 10 月～ 2 月

◆受診していただきたい理由

- ①早い段階で生活習慣病の芽をつみます。身体に起きている異常を早期に発見し、重症化を防ぐことができます。
- ②結果説明会で専門家（保健師、栄養士）のサポートが受けられます。
- ③医療費を節約できます。重症化を未然に防ぎ、長期的な治療やリハビリにかかる医療費の負担を軽減できます。

できていますか？ ストレス解消、リラックス

冬は寒くて身体に力が入りがちです。心身ともにリラックスすることは、こころの健康保持にとっても大切です。

◆ストレス解消のために…

- ・ バランスのいい食事
おいしく食べる、栄養をしっかりとることでイライラや不安が和らぎます。
- ・ 質の良い睡眠
睡眠はストレスから身体を解放します。
- ・ 趣味、スポーツ
リフレッシュし、ほどよい疲れが良い睡眠にもつながります。
- ・ 入浴
血行促進により心身の緊張がほぐれます。

◆お知らせ

「生涯学習・こころの健康づくり」合同講演会を開催します。詳細は 12 ページをご覧ください。

今 月は 2 月に実施する健（検）診意向調査についてお知らせします。

この意向調査は、町内に住む 19 歳以上の方を対象に、令和 2 年度に実施する町の健（検）診の受診希望を伺うものです。あわせて健康・食育に関するアンケートの回答をお願いしています。国民健康保険以外の社会保険加入の方も対象です。

各地区担当の保健補導員が希望調査入りの封筒を配布しますので、指定された期日までにご記入の上、保健補導員にお渡しください。

② がん検診

◆検診実施時期

- ・ 子宮がん、乳がん集団検診… 6 月上旬
- ・ 子宮がん施設検診… 10 月～ 11 月
- ・ 胃がん内視鏡検診… 6 月～ 9 月
- ・ 胃がんバリウム、肺がん、大腸がん、前立腺がん… 9 月 8 日～ 27 日（9 日間）

◆がん検診の内容

臓器	検診方法	対象年齢（受診間隔）
胃	問診、胃バリウムまたは内視鏡検査	バリウム：40 歳以上（毎年） 内視鏡：50 歳以上（2 年に 1 回）
子宮	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	20 歳以上の女性（毎年）
乳房	問診、エコー、マンモグラフィ	エコー：20 歳以上の女性（毎年） マンモ：40 歳以上の女性（2 年に 1 回）
肺	問診、胸部 X 線	40 歳以上（毎年）
大腸	問診、便潜血検査	40 歳以上（毎年）
前立腺	問診、血液検査	50 歳以上の男性（毎年）

◆受診していただきたい理由

がん検診は、特に症状がない健康な皆さんが対象です。定期的な受診は、自覚症状のない早期のがんの発見につながります。

がんはいつできるかわかりません。知らないうちにできているがんを、早めに発見するためには定期的に検診を受けることが大切です。

がん検診を受診して「異常なし」だった場合でも、気になる症状がある方は、次の検診を待たずにただちに医療機関を受診することも重要です。

市村隊員

地域 おこし 協力隊

活動記録

協力隊 1 年目の振り返り

2 019 年 2 月 1 日に地域おこし協力隊として着任してから、1 年が経ちました。今回は、協力隊 1 年目を振り返ってみようと思います。

着任して最初の 2、3 か月は、とにかく下郷町での暮らしに慣れるのに必死でした。協力



▲自分で作ったかぼちゃ

隊としてというよりは、移住者として、今までとは全く違う環境や風習に触れ、うまくいかないことだらけで落ち込んでばかりでした。でも、落ち込むたびに色々な方が励ましてくださり、助けてくださいました。町民の皆さんの温かさが本当にありがたかったです。

私は地域おこし協力隊という仕事についてはとことん悩みましたが、下郷町での暮らしは大好きです。何気ない風景にも心癒され、下郷町に来て良かったなあと毎日のように感じています。

いつからか、協力隊の任務だ

けでなく、この「下郷町が好き」という思いを私なりの言葉で多くの方に伝えることも、私にとつての「地域おこし」なのではないかと思うようになりました。

1 年目は「地域おこし協力隊」というものを重く捉えずにいたかもしれない。移住者としての自分が楽しそうに暮らす姿を発信するだけでも、下郷町の魅力を PR することにつながると思えば、私にもまだまだやれることがありそうです。

2 年目はもう少し視野を広くして余裕を持ち、肩の力を抜いて任務にあたりたいです。



森田隊員

森田隊員は勉強のため、協力隊の活動をお休みしております。それに伴い、広報での活動報告もお休みとなります。ご理解くださいますようお願いいたします。



▲半夏祭りにも行きました



▶日暮の滝が好きです

▲羊さんたちとも仲良くなりました

JAK 先生体験記

下郷の皆さん、明けましておめでとうございます！皆さん、すてきな冬休みを過ごしたことでしよう。

今年の南会津は、ほとんど雪がありません。冬休みは毎日スノーボードをしたいと思っていましたが、残念ながらそうはいきませんでした。

先日、グランデコスノーリゾートに行きました。雪の量は少なかったけど面白かったです。

イングランドに住んでいた頃、雪はとてもめずらしいものでした。たまに降っていましたが、雪は非常に危険な状況をつくり、皆が運転するのを怖がっていました。

日本に住むようになって、私の雪に対する印象はかなり代わりました！今はスノーボードをとっても楽しんでいます！

2020年は、たくさんの人と話せるように、もっと日本語を勉強したいと思います。時間がかかる上に大変なことです、一生懸命取り組みます。



▲スキース場のリフトにて。後ろは奥様

すこやかちゃん

来月1歳になる「すこやかちゃん」はだれかな？
掲載希望者は15日までに
総務係へ連絡を TEL69-1122
soumu_03@town.shimogo.fukushima.jp



「お兄ちゃん遊ば〜よ♪」

るいと
星 壘斗くん
(良太さん 塩生)



～下郷町内の企業紹介～

河合新聞店

代 表 河合 政弘 (刈 林)
従業員 29 名
所在地 下郷町大字豊成字林中 6091



▶河合さんご家族

河合新聞店は、河合さんご家族4名と配達員25名で、新聞と牛乳の販売・配達を行っています。

牛乳の販売を始めたのは10年ほど前ですが、新聞店は昭和14年頃に河合さんのお父さんが始めました。

現在、河合新聞店では一般紙7種類の他、スポーツや農業、子ども用の新聞など専門紙も数多く取り揃えています。

各社からの新聞は、早朝2時に届きます。その新聞にチラシをはさみ、地区別に分けて町内の家庭や事業所などに届けているそうです。

河合さんは、最近は新聞を読む人が減っていて残念だと話します。今はインターネットで簡単に情報を得られますが、新聞は記録として手元に残すことができます。また、教養や健康、娯楽、海外のことなど、さまざまな分野の情報が掲載されているため、「これからを担う若い世代には特に読んでほしい」と話してくれました。



しもごう保育所にし組のおともだち

しもごう保育所

下郷町大字豊成字林中6110-3
TEL69-1135

所 長	室井 和子
職 員 数	22名
クラス数	6クラス
児 童 数	108名
ひよこ組 (0歳児)	11名
(1歳児)	14名
うさぎ組 (2歳児)	15名
か ぜ 組 (3歳児)	23名
に じ 組 (4歳児)	21名
そ ら 組 (5歳児)	24名

◆保育理念

子ども一人一人を大切に、保護者からも信頼され地域に愛される保育所を目指す

◆保育目標

- 思いやりのある子ども
- がまん強い子ども
- がんばる子ども
- みんなと仲良く遊べる子ども



しもごう保育所にし組は21名(男子9名、女子12名)の明るいクラスです。担任は五十嵐茜先生(湯野上)が務めています。

先生にクラスの様子を伺うと、「明るくて、皆が個性的で面白い」と言います。

年度当初は自分のことで一杯だった子どもたちも、今年の4月から年長さんになります。徐々に周りが見えてきて、最近は困っている子がいれば助けてあげたり、先生のお手伝いもしてくれるようになりました。先生は「自慢のクラス」と笑顔を見せます。

12月の生活発表会では、「バラエティショー」を発表。本番までに一生懸命練習して、

成功したことがとても嬉しかったそうです。

今、子どもたちが頑張っているのは縄跳び。まだ多くは跳べませんが、たくさん跳べるよう練習しています。

先生は一人で21人の子どもたちの面倒をみているため、全員のお話をじっくり聞いてあげることができない日もあります。それでも必ず毎日、茜先生の方から、一人一人に声をかけるようにしているそうです。

先生は「来年は年長さんなので自分のできることを増やしてほしい」とも思うそうですが、「毎日元気に、楽しく保育所に来てもらえれば一番です」と話してくれました。



わたくしたちの先生

下郷町短歌会

山に生き畑を守り子を育て
叔母は穏しく百を生きたり
湯野上 筒井 孝子

ひととせに詠みし短歌のノート繰り
「生二首」という語を思う
萩原 渡部 千恵子

幾万の弓矢となりて落葉松の
地にも我にも葉のふり注ぐ
桃曾根 星 新栄

八十まで支えてくれしわが夫に
正座して言う感謝のことば
桃曾根 渡部 澄子

広報文芸

雪国にイルミネーションは要らないと
一面白き景色に思う
大松川 佐藤 美佐子

子の着物解きて作りし座布団に
カスリ模様がふたたび映える
塩 生 弓田 ひろの

「ふよふよ」の細き母の手引きながら
幼き頃の空思い出す
音 金 弓田 シズ子

七十路の俄大工は雪開い
せんと梯子に登り釘打つ
大沢 鈴木 佐知子

町の気象データ

12月	
最高気温	17.0℃ (2日)
最低気温	-5.0℃ (9,16日)
平均気温	2.4℃
月計降水量	38.0mm
月計降雪量	6.0mm
環境放射能 (μSv/時)	最高0.067 最低0.033

※町役場前観測・測定

図書便り

グリーンプラザ田沼文蔵記念館

◆開館時間 9:00～17:00
◆休館日 毎週月・年末年始

【一般図書】

□春とび娘 ヤッさん (5) 原宏一 / 双葉社

□風間教場 長岡弘樹 / 小学館

□大名倒産 上・下 浅田次郎 / 文藝春秋

□老人初心者の覚悟 阿川佐和子 / 中央公論新社

□ベビーニットでかわいい動物さんにな～れ! 川路ゆみこ / 主婦の友社

【児童図書】

□いちにちなぞのいきもの ふくべあきひろ / PHP 研究所

□もりのピザやさん 舟崎靖子 / 偕成社

□かいけつゾロリ スターたんじょう 原ゆたか / ポプラ社

(広告)

和楽あいづ司法書士事務所

●平日 8時30分～17時
●ご連絡を頂ければ、ご自宅などに伺うこともできます
※ご予約により日程調整のうえ、土・日曜日でも対応可

司法書士 羽 賀 吉 男
事務所 会津美里町字本郷道上77番地
☎(0242)93-7177
登録番号: 福島 第740号 簡裁訴訟代理関係業務認定番号: 第1801701号

・相続や贈与などによる土地・建物の名義変更の登記
・遺言書作成・相談、遺産分割協議書作成
・成年後見の申立て
・会社の役員や目的、資本金などの変更登記

案内 **田島税務署より 申告に関するお知らせ**

確定申告期間に向けて、「e-Tax (電子申告)」を利用した申告と申告書作成会場についてお知らせします。

◆申告書の作成・提出

確定申告書は、国税庁ホームページで作成できます。作成した申告書は、マイナンバーカードまたはICカードリーダーライター対応のスマートフォンを用意すれば、「e-Tax」を利用して提出できます。

事前に税務署で手続きをすれば、マイナンバーカードとICカードリーダーライター等をお持ちでない方でも、「e-Tax」を利用できます。

URL 国税庁ホームページ <https://www.nta.go.jp>

◆申告書作成会場

会場 田島税務署 1 階会議室
期間 令和2年2月17日(月)～3月16日(月)
時間 9:00～17:00 (※相談受付は16:00まで)
注意 譲渡所得、贈与税に関する相談は、木曜・金曜のみ受け付けます。

問合せ先 田島税務署
☎0241 (62) 1230 (※自動音声案内)

案内 **B型肝炎特別措置法 出張相談会のお知らせ**

B型肝炎になった方とその家族を対象に無料相談会を開催します。

日時 令和2年3月14日(土) 13:30～16:00 (受付は15:00まで)

会場 会津アピオスペース
問合せ先 全国B型肝炎訴訟 新潟・福島・山形事務所
☎025 (223) 1130

募集 **なすかしの森 冬のサバイバルキャンプ**

過酷な環境で楽しく快適に過ごす方法を、冬の自然環境を生かしたゲームを交えながら楽しく修得しましょう。

開催日 令和2年2月22日(土)～2月23日(日)

対象 小学3年生から中学生までの児童・生徒

参加費 小学生 3,000円
中学生 3,200円

申込み ホームページ「申し込みフォーム」からお申込みください。

URL <https://nasukashi.niye.go.jp/>

募集締切 令和2年2月16日(日)

問合せ先 那須甲子青少年自然の家
☎0248 (36) 2331

相続 **【相続に関するQ & A】 ③不動産の相続手続き**

Q: 不動産の相続手続きはどうすればいいですか？

A: 亡くなった方(被相続人)が遺言書を残していない場合、民法により配偶者が常に相続人となりますが、その他は次の順序で決められています。

(1) 被相続人の子や孫
(2) 被相続人の父母や祖父母
(3) 被相続人の兄弟姉妹や甥姪

①被相続人の戸籍をとり、相続人を確定させてください。
②複数の相続人の間で、遺産分割協議をします。
③不動産を相続する人が決まったら、戸籍や遺産分割協議書を用意し、早めに管轄の法務局に登記申請をしてください。

問合せ先 福島県司法書士会
☎024 (534) 7502
福島地方法務局
☎024 (534) 2045

お知らせ

掲示板

年金 **【注意!】メールでご案内することはありません!**

日本年金機構から皆さまへ、メールで各種書類の提出や登録手続き等をお願いすることはありません。

昨年から日本年金機構を装い、「賞与支払届」等の件名でメールが送られる事案が発生しています。添付ファイルの開封やURLへのアクセスを促したり、不正なファイルをダウンロードさせ、パソコンやスマートフォンをウイルスに感染させるものです。

絶対に添付ファイルを開いたり、URLにアクセスしないようご注意ください。

問合せ先 下郷町役場町民課
☎0241 (69) 1133
会津若松年金事務所
☎0242 (27) 5321

募集 **ものづくり分野の 職業訓練を実施します**

ものづくり分野での再就職希望者を対象に、下記のとおり職業訓練を実施します。

訓練科名 ・CAD、NCコース
・電気設備技術コース

募集締切 令和2年2月18日(火)

訓練期間 令和2年3月3日(火)～8月28日(金)

対象者 公共職業安定所に求職登録をし、訓練受講が望ましいと判断された方

受講料 無料

問合せ先 ポリテクセンター会津
☎0242 (26) 0520

暮らしガイド

◆下郷町役場

開庁時間 午前8時30分～午後5時15分

※各課直通電話をご利用ください。

●総務課……………(代) 69-1122

・総務係 ・財政係 ・管財係

●総合政策課……………69-1144

・企画政策係 ・商工観光係

●税務課……………69-1155

・課税係 ・収納係

●町民課……………69-1133

・戸籍保険係 ・生活安全係

●健康福祉課……………69-1199

・福祉係 ・介護保険係 ・健康係

●農林課……………69-1188

・農政係 ・農林係

●建設課……………69-1177

・管理係 ・工務係 ・水道係

●出納室……………69-1121

●教育委員会事務局

・学校教育係……………69-1166

・文化財係 ・社会教育係……………69-1168

●議会事務局……………69-1123

●農業委員会事務局……………69-1188

◆江川出張所……………69-5111

◆公民館……………67-2211

◆保育所

・しもごう保育所……………69-1135

・湯野上保育所……………68-2315

◆地域子育て支援センター……………69-1137

◆子育て世代包括支援センター……………69-1199

◆社会福祉協議会……………69-5111

◆下郷ふれあいセンター……………69-1112

◆大川ふるさと公園……………67-2905

◆町民体育館……………68-2542

◆田沼文蔵記念館……………67-3251

※納税には便利な口座振替をご利用ください。

2月の納税等

payment of taxes

固定資産税	4期
国民健康保険税	8期
介護保険料	6期
水道使用料	2月
後期高齢者医療保険料	7期

◆問い合わせ先
税務課 ☎ 69-1155

2月の保健行事

健康福祉課健康係
☎ 69-1199

内 容	日 時	会 場	対象者等
元気はつらつ教室	4日 25日	老人福祉センター コミュニティセンター	65歳以上で、介護予防のための運動をしたい方
	18日		
心の健康相談	5日	13:30～15:00	南会津保健所へご予約ください。 (☎ 63-0305)
なかよしサークル	6日	9:30～14:30	こころの病気とたたかっている方。お気軽にお問い合わせください。
1歳6か月児健康診査	7日	(受付) 12:30～13:00	下郷ふれあいセンター
健康づくり会講演会	16日	13:00～	下郷ふれあいセンター
育児相談会	18日	10:00～11:30	子育て支援センター(しもごう保育所内)
3～4か月児健康診査	19日	受付 12:15～12:45	南会津町保健センター(御蔵入交流館)
乳幼児健康相談 ①2歳6～7か月児 ②11～12か月児 ③6～7か月児	21日	(受付) ①9:00～9:20 ②9:20～9:40 ③9:45～10:00	下郷ふれあいセンター

日曜当番医

※診察は午前のみ

2月
2日 芳賀医院 ☎ 67-2128 (下郷町)
9日 長谷川医院 ☎ 62-0032 (南会津町)
16日 馬場医院 ☎ 62-0141 (南会津町)
23日 なかやクリニック ☎ 73-2036 (南会津町)
3月
1日 伊南小野木クリニック ☎ 76-7780 (南会津町)
8日 館岩愛輝診療所 ☎ 78-8688 (南会津町)
15日 耳鼻咽喉科あべクリニック ☎ 62-8733 (南会津町)
22日 只見朝日診療所 ☎ 84-2221 (只見町)
29日 きむらクリニック ☎ 62-5576 (南会津町)

子育て支援情報

地域子育て支援センターは、
皆さんの子育てを応援します問合せ 地域子育て支援センター
☎ 69-1137

◀ 昨年の様子

育児相談会

★育児相談会(月1回、第2火曜日)
発育や健康面で気になることはありませんか?保健師やセンター職員が応じます。身長・体重を測定しますので、母子健康手帳を持参してください。◆日 時 2月18日(火)
10:00～11:30

◆場 所 子育て支援センター

お話を楽しもう

★今回のテーマは「つめたいね」です。
親子でお話の世界を楽しみましょう!◆日 時 2月19日(水)
10:00～10:30

◆場 所 子育て支援センター

★参加希望の方は、2月18日(火)までに
子育て支援センターにお申込みください。

ひなまつり

★3月3日は桃の節句。一緒にお雛様を作って、お子さんの健やかな成長を願いましょう。

◆日 時 3月3日(火)
10:00～11:30

◆場 所 子育て支援センター

★参加希望の方は、2月25日(火)までに
子育て支援センターにお申込みください。

人口と世帯数

令和2年1月1日現在()は前月比

男……………2,759人	(- 8)	
女……………2,826人	(- 1)	出生…… 2人
計……………5,585人	(- 9)	死亡…… 12人
世帯数……2,234世帯	(- 1)	

町のうごき

皆さんこんにちは。冬なのに
なかなか雪が降りませんね。ど
うしたことでしょう。
さて、今月は沼尾区を取り組
みを紹介しました。その取材中、
昔の「広報しもごう」を見てい
て気付いたことがあります。
なんと、表紙の「広報しもごう」
のロゴは、昭和41年1月号から
変わっていないのです!白黒か
らカラーにはなりましたが、歴
史あるレトロなロゴ、使い続け
たいと思います。(室井彩子)

いろどり通信 (編集後記)

(広告)

—きれいな街がすき—
土木建築工事・水道工事・解体工事・
砕石販売・一般・産業廃棄物収集運搬
株式会社 しもごう環境サービス
代表取締役 齋藤 理
【本社・工事部】 下郷町大字豊成字下川原115
☎(67)4265 FAX(67)4275
【環境部・プラント部】 下郷町大字豊成字下川原115
☎(69)1231 FAX(69)1232
【衛生課】(東部聖苑火葬受付番号) ☎(67)3707

(広告)

行政書士 ほしあきと 星明人 事務所
事務所 南会津町塩江字根岸乙 328
TEL・FAX (0241) 64-5004
遺言／相続／成年後見
建設業の許可／企業法務
お早めの遺言・相続をおすすめします。

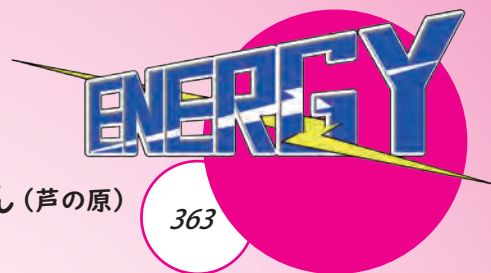
(広告)

ふかふか毛布で スヤスヤ睡眠
洗濯から乾燥まで 60分仕上げ
洗濯乾燥機 容量比較はこちら
小型 8kg 毛布2枚
中型 15kg 毛布3枚
大型 22kg 毛布5枚
コイランドリー Whitopia
場所：下郷中学校正門目の前
営業：年中無休 6:00～23:00
連絡：0241-67-2715 有：マルヨ建設



小山 祐希 さん(芦の原)

Yuki Oyama



し もこう保育所かぜ組(3歳児)の担任として働く小山さんは、仕事を楽しんでいると話します。難しいと感じることは子どもとの接し方。保育所では多くの子どもと接しますが、それぞれの年齢に合った接し方をしなければいけません。他にも大変なことなどありますが、子どもたちの笑顔を見ると自分も笑顔になれると笑います。

小山さんは背が高いため、働き始めた頃は怖がられることもあったとか。今は子どもたちも慣れて、お兄さんのように慕ってくれるそうです。小山さんは、保育所で働いてもうすぐ一年になります。運動会や生活発表会などの行事では、もっと積極的に動き、他の先生方の力になりたいと意気込んでいました。

PHOTOGRAPH Part 21

～皆さんに見ていただきたい1枚をご紹介します～

自称！

会津で一番大きい!? クリスマスツリー

大川ダム若郷湖にイルミネーション

12月18日から1月10日にかけて、大川ダム若郷湖にイルミネーションが設置されました。このイルミネーションは株式会社共立土建(会津若松市)の社会貢献事業として実施され、国道121号線沿いの大川ダム西公園をビュースポットとして設置されました。(写真は12月26日までのクリスマスバージョン)

阿賀川河川事務所によると、「たぶん会津で一番大きいクリスマスツリーです」とのことでした。



◀水面に映る光もきれいでした